参 考 資 料

・参考資料１　日本専門医機構　2027 年度プログラム募集シーリング数（案）
（Ｐ１～Ｐ１３）

・参考資料２　令和９年度の専攻医募集について
（令和７年度第４回医道審議会医師分科会医師専門研修部会資料）
（Ｐ１４～Ｐ２６）

・参考資料３　医師の専門研修に関する協議について
（Ｐ２７～Ｐ２８）

・参考資料４　令和８年度専門研修プログラム　基幹施設一覧
（Ｐ２９）

・参考資料５　京都府保健医療計画（抄）
（Ｐ３０～４５）

・参考資料６　目標医師数設定例
（Ｐ４６）

・参考資料７　診療科別医師数
（Ｐ４７～Ｐ５３）

・参考資料８　医療施設別医師数
（Ｐ５４）

・参考資料９　指標設定例
（Ｐ５５）

・参考資料１０　京都府医療対策協議会設置要綱
（Ｐ５６）

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

内科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.866	75										
青森県	0.683	18										
岩手県	0.711	25										
宮城県	0.987	60										
秋田県	0.697	18										
山形県	0.699	16										
福島県	0.717	25										
茨城県	0.746	55										
栃木県	0.935	39										
群馬県	0.788	23										
埼玉県	0.681	108										
千葉県	0.774	121										
東京都	1.330	531	383	333	50	0	148	78	70	531	2	
神奈川県	0.865	212										
新潟県	0.740	27										
富山県	0.887	16										
石川県	1.009	31										
福井県	0.820	19										
山梨県	0.831	18										
長野県	0.821	31										
岐阜県	0.904	38										
静岡県	0.773	55										
愛知県	0.849	176										
三重県	0.886	31										
滋賀県	0.975	42										
京都府	1.211	79	68	59	9	0	11	6	6	79	3	連携枠端数－1
大阪府	1.074	214										
兵庫県	0.990	186										
奈良県	1.000	40										
和歌山県	1.114	26	24	21	3	0	2	1	1	26	1	
鳥取県	1.042	13	18	12	1	5	0	0	0	18	1	
島根県	0.999	16										
岡山県	1.131	57	49	43	6	0	8	3	5	57	4	
広島県	0.993	52										
山口県	0.843	16										
徳島県	1.131	12	22	16	0	6	0	0	0	22	0	
香川県	0.957	16										
愛媛県	0.886	18										
高知県	0.829	15										
福岡県	1.239	151	138	120	18	0	13	7	7	151	0	連携枠端数－1
佐賀県	1.053	18										
長崎県	1.136	32	41	29	3	9	0	0	0	41	0	
熊本県	1.093	33	40	40	0	0	0	0	0	40	0	
大分県	1.038	27										
宮崎県	0.820	19										
鹿児島県	1.052	30	36	36	0	0	0	0	0	36	0	
沖縄県	1.017	29										
			819	709	90	20	182	95	89	1,001	11	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、内科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は49名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－1」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋1」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

小児科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.971	18										
青森県	0.892	4										
岩手県	0.881	2										
宮城県	0.908	6										
秋田県	1.113	2										
山形県	0.950	2										
福島県	0.864	4										
茨城県	0.818	8										
栃木県	0.967	9										
群馬県	0.991	9										
埼玉県	0.774	29										
千葉県	0.711	21										
東京都	1.230	117	66	57	9	0	51	14	37	117	2	
神奈川県	0.833	32										
新潟県	0.918	7										
富山県	1.060	3										
石川県	0.966	4										
福井県	1.015	3										
山梨県	1.059	3										
長野県	1.038	7	9	9	0	0	0	0	0	9	0	
岐阜県	0.851	6										
静岡県	0.813	11										
愛知県	0.790	32										
三重県	0.879	4										
滋賀県	0.949	4										
京都府	1.248	9	10	10	0	0	0	0	0	10	0	
大阪府	0.955	50										
兵庫県	1.110	32	28	24	4	0	4	1	3	32	0	
奈良県	1.024	6	6	5	1	0	0	0	0	6	0	
和歌山県	1.075	4										
鳥取県	1.450	2										
島根県	0.979	3										
岡山県	1.041	8	14	8	0	6	0	0	0	14	0	
広島県	0.814	7										
山口県	0.687	4										
徳島県	1.097	2										
香川県	1.101	4										
愛媛県	0.969	5										
高知県	0.719	3										
福岡県	0.964	23										
佐賀県	0.868	1										
長崎県	1.058	3										
熊本県	0.896	4										
大分県	1.056	2										
宮崎県	0.845	3										
鹿児島県	0.805	5										
沖縄県	0.847	6										
			133	113	14	6	55	15	40	188	2	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、小児科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は9名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

皮膚科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.862	12										
青森県	0.704	3										
岩手県	0.684	3										
宮城県	0.862	3										
秋田県	0.626	1										
山形県	0.776	0										
福島県	0.475	1										
茨城県	0.684	5										
栃木県	0.845	5										
群馬県	0.767	3										
埼玉県	0.850	11										
千葉県	0.702	9										
東京都	1.528	66	41	36	5	0	25	6	19	66	1	
神奈川県	0.936	14										
新潟県	0.757	2										
富山県	0.903	2										
石川県	1.225	6	3	3	0	0	3	1	2	6	0	
福井県	1.000	2										
山梨県	0.799	2										
長野県	0.661	3										
岐阜県	0.798	4										
静岡県	0.786	6										
愛知県	1.038	25	22	19	3	0	3	1	2	25	2	
三重県	0.845	2										
滋賀県	0.815	5										
京都府	1.182	11	7	6	1	0	4	0	4	11	1	
大阪府	0.991	35										
兵庫県	1.034	13	14	14	0	0	0	0	0	14	0	
奈良県	1.125	4										
和歌山県	0.923	4										
鳥取県	0.804	2										
島根県	0.886	2										
岡山県	1.113	6	6	5	1	0	0	0	0	6	1	
広島県	0.895	5										
山口県	0.892	2										
徳島県	0.980	2										
香川県	0.892	2										
愛媛県	0.695	3										
高知県	0.631	3										
福岡県	0.974	12										
佐賀県	0.934	2										
長崎県	0.999	2										
熊本県	1.083	4										
大分県	0.937	4										
宮崎県	0.780	1										
鹿児島県	0.703	4										
沖縄県	0.943	1										
			93	83	10	0	35	8	27	128	5	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、皮膚科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は5名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

精神科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	精神科指定医連携枠	シーリング数（通常＋連携等＋指定医連携枠）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.963	14											
青森県	0.794	3											
岩手県	0.845	4											
宮城県	0.893	9											
秋田県	1.060	3											
山形県	0.993	5											
福島県	0.843	8											
茨城県	0.688	7											
栃木県	0.752	12											
群馬県	0.907	11											
埼玉県	0.690	31											
千葉県	0.747	20											
東京都	1.255	98	74	64	10	0	24	6	18	0	98	2	
神奈川県	0.910	45											
新潟県	0.666	4											
富山県	0.988	4											
石川県	1.055	8	9	5	1	3	2	0	2	0	11	0	
福井県	1.043	4											
山梨県	0.981	5											
長野県	0.820	7											
岐阜県	0.645	5											
静岡県	0.718	8											
愛知県	0.833	29											
三重県	0.859	3											
滋賀県	0.774	5											
京都府	1.033	15	13	11	2	0	2	1	1	0	15	0	
大阪府	0.869	46											
兵庫県	0.906	21											
奈良県	0.877	11											
和歌山県	0.964	6											
鳥取県	1.356	5											
島根県	1.172	4											
岡山県	1.084	10	9	8	1	0	1	0	1	1	11	1	
広島県	1.009	6	12	12	0	0	0	0	0	0	12	0	
山口県	1.065	3											
徳島県	1.226	2											
香川県	1.094	6	5	4	1	0	1	0	1	0	6	1	
愛媛県	0.896	2											
高知県	1.174	5											
福岡県	1.320	25	25	23	2	0	0	0	0	0	25	1	
佐賀県	1.429	9	5	4	1	0	4	0	4	0	9	1	
長崎県	1.253	4											
熊本県	1.430	8	13	8	0	5	0	0	0	0	13	0	
大分県	1.180	5											
宮崎県	1.220	2											
鹿児島県	1.213	4											
沖縄県	1.607	7	8	7	0	1	0	0	0	0	8	0	
			173	146	18	9	34	7	27	1	208	6	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、精神科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は9名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－1」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

整形外科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.853	28										
青森県	0.768	4										
岩手県	0.675	5										
宮城県	0.892	9										
秋田県	0.804	5										
山形県	0.935	4										
福島県	0.791	10										
茨城県	0.735	11										
栃木県	0.860	7										
群馬県	0.924	8										
埼玉県	0.683	31										
千葉県	0.814	37										
東京都	1.076	118										
神奈川県	0.910	46										
新潟県	0.730	10										
富山県	0.848	2										
石川県	0.998	9										
福井県	0.924	2										
山梨県	1.050	6										
長野県	0.854	7										
岐阜県	0.759	7										
静岡県	0.859	13										
愛知県	0.766	56										
三重県	0.959	5										
滋賀県	0.981	7										
京都府	1.105	18	17	15	2	0	1	1	1	18	0	連携枠端数－1
大阪府	1.059	43										
兵庫県	1.071	49										
奈良県	1.169	9	8	7	1	0	1	1	0	9	1	
和歌山県	1.218	3										
鳥取県	0.992	3										
島根県	0.858	1										
岡山県	1.002	19										
広島県	0.989	15										
山口県	0.912	6										
徳島県	0.936	4										
香川県	1.173	3										
愛媛県	0.981	4										
高知県	0.869	4										
福岡県	1.289	42	33	29	4	0	9	6	3	42	1	
佐賀県	1.239	2										
長崎県	1.162	5										
熊本県	1.116	5										
大分県	0.893	5										
宮崎県	1.025	4										
鹿児島県	1.012	8										
沖縄県	1.114	14										
			58	51	7	0	11	8	4	69	2	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、整形外科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は12名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

眼科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.781	10										
青森県	0.548	4										
岩手県	0.757	1										
宮城県	0.899	7										
秋田県	0.680	1										
山形県	0.803	2										
福島県	0.712	4										
茨城県	0.729	4										
栃木県	0.780	2										
群馬県	0.768	2										
埼玉県	0.805	11										
千葉県	0.795	17										
東京都	1.461	68	44	38	6	0	24	11	13	68	1	
神奈川県	0.905	22										
新潟県	0.704	4										
富山県	1.024	1										
石川県	0.996	5										
福井県	0.928	1										
山梨県	1.021	3										
長野県	0.768	1										
岐阜県	0.873	3										
静岡県	0.922	5										
愛知県	1.030	27	23	20	3	0	4	2	2	27	1	
三重県	0.950	5										
滋賀県	0.944	5										
京都府	1.199	17	8	7	1	0	9	4	5	17	0	
大阪府	1.167	26	26	23	3	0	0	0	0	26	0	
兵庫県	1.103	12	14	14	0	0	0	0	0	14	0	
奈良県	0.991	3										
和歌山県	0.966	1										
鳥取県	0.959	1										
島根県	0.896	2										
岡山県	1.044	7	6	5	1	0	1	1	1	7	0	連携枠端数－1
広島県	0.947	5										
山口県	0.810	2										
徳島県	0.946	1										
香川県	1.038	2										
愛媛県	1.049	2										
高知県	0.751	3										
福岡県	0.997	12										
佐賀県	0.861	0										
長崎県	0.977	3										
熊本県	0.925	5										
大分県	0.694	2										
宮崎県	1.007	2										
鹿児島県	0.881	5										
沖縄県	0.923	3										
			121	107	14	0	38	18	21	159	2	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、眼科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は6名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

耳鼻咽喉科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.915	13										
青森県	0.844	1										
岩手県	0.653	1										
宮城県	0.948	4										
秋田県	0.881	2										
山形県	1.033	1										
福島県	0.834	2										
茨城県	0.664	1										
栃木県	0.876	3										
群馬県	0.680	2										
埼玉県	0.696	8										
千葉県	0.775	8										
東京都	1.236	53	30	26	4	0	23	12	12	53	2	連携枠端数－1
神奈川県	0.889	14										
新潟県	0.786	6										
富山県	0.952	1										
石川県	1.009	3										
福井県	1.385	0										
山梨県	1.055	1										
長野県	0.745	3										
岐阜県	0.999	2										
静岡県	0.915	6										
愛知県	0.940	16										
三重県	0.839	1										
滋賀県	1.118	2										
京都府	1.403	7	6	5	1	0	1	0	1	7	1	
大阪府	1.041	13	16	16	0	0	0	0	0	16	0	
兵庫県	1.017	10	10	10	0	0	0	0	0	10	0	
奈良県	1.139	2										
和歌山県	1.118	3										
鳥取県	1.157	2										
島根県	0.812	0										
岡山県	1.101	7	3	3	0	0	4	2	2	7	0	
広島県	1.053	3										
山口県	1.025	2										
徳島県	1.201	1										
香川県	1.193	1										
愛媛県	1.204	3										
高知県	0.750	1										
福岡県	0.985	10										
佐賀県	0.938	1										
長崎県	1.006	3										
熊本県	0.898	1										
大分県	0.791	1										
宮崎県	0.792	0										
鹿児島県	0.815	1										
沖縄県	0.861	2										
			65	60	5	0	28	14	15	93	3	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、耳鼻咽喉科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は4名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

泌尿器科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	1.001	12										
青森県	1.030	5										
岩手県	1.012	4										
宮城県	0.796	6										
秋田県	1.055	3										
山形県	1.021	1										
福島県	0.838	3										
茨城県	0.755	6										
栃木県	0.752	6										
群馬県	0.903	5										
埼玉県	0.689	9										
千葉県	0.920	16										
東京都	1.102	72	45	39	6	0	27	14	14	72	4	連携枠端数－1
神奈川県	0.913	19										
新潟県	0.558	3										
富山県	0.836	2										
石川県	1.148	1										
福井県	1.072	2										
山梨県	0.987	4										
長野県	0.790	4										
岐阜県	0.736	2										
静岡県	0.944	7										
愛知県	0.651	20										
三重県	0.860	3										
滋賀県	1.060	4										
京都府	1.334	12	8	7	1	0	4	2	2	12	1	
大阪府	1.151	23	24	24	0	0	0	0	0	24	0	
兵庫県	1.014	13										
奈良県	1.043	5										
和歌山県	1.019	3										
鳥取県	1.095	1										
島根県	0.987	3										
岡山県	0.950	10										
広島県	0.804	6										
山口県	1.188	3										
徳島県	1.203	0										
香川県	1.321	0										
愛媛県	1.254	2										
高知県	1.100	1										
福岡県	1.074	17	16	14	2	0	1	1	1	17	0	連携枠端数－1
佐賀県	1.003	0										
長崎県	1.010	5										
熊本県	1.135	4										
大分県	1.007	2										
宮崎県	1.003	3										
鹿児島県	0.902	5										
沖縄県	0.909	2										
			93	84	9	0	32	17	17	125	5	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、泌尿器科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は6名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

脳神経外科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	1.083	9	9	9	0	0	0	0	0	9	0	
青森県	0.524	1										
岩手県	0.896	1										
宮城県	0.718	3										
秋田県	0.807	2										
山形県	0.747	2										
福島県	0.801	3										
茨城県	0.845	3										
栃木県	0.637	4										
群馬県	0.778	3										
埼玉県	0.631	11										
千葉県	0.739	10										
東京都	1.129	44	30	26	4	0	14	5	9	44	4	
神奈川県	0.783	13										
新潟県	0.727	3										
富山県	0.816	0										
石川県	0.969	4										
福井県	1.065	1										
山梨県	0.988	0										
長野県	0.822	2										
岐阜県	0.853	2										
静岡県	0.882	3										
愛知県	0.785	18										
三重県	0.893	2										
滋賀県	0.814	0										
京都府	1.032	6										
大阪府	1.091	18										
兵庫県	0.944	11										
奈良県	0.928	2										
和歌山県	1.130	0										
鳥取県	0.850	1										
島根県	0.676	0										
岡山県	1.144	5										
広島県	0.934	4										
山口県	0.979	2										
徳島県	1.088	2										
香川県	1.046	1										
愛媛県	1.087	1										
高知県	1.072	2										
福岡県	1.067	14										
佐賀県	1.069	0										
長崎県	0.787	1										
熊本県	0.817	2										
大分県	0.871	1										
宮崎県	0.696	0										
鹿児島県	0.987	4										
沖縄県	0.899	1										
			39	35	4	0	14	5	9	53	4	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、脳神経外科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は4名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

放射線科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.720	10										
青森県	0.574	5										
岩手県	0.527	1										
宮城県	0.945	10										
秋田県	0.608	1										
山形県	0.935	2										
福島県	0.705	4										
茨城県	0.508	4										
栃木県	0.723	4										
群馬県	0.926	6										
埼玉県	0.563	14										
千葉県	0.688	19										
東京都	1.331	49	45	39	6	0	4	1	3	49	4	
神奈川県	0.831	24										
新潟県	0.572	3										
富山県	0.963	2										
石川県	1.356	5										
福井県	1.345	1										
山梨県	1.067	3										
長野県	0.634	2										
岐阜県	0.676	3										
静岡県	0.707	8										
愛知県	0.864	27										
三重県	0.975	5										
滋賀県	1.135	3										
京都府	1.636	14	8	7	1	0	6	2	4	14	0	
大阪府	1.204	15	24	24	0	0	0	0	0	24	0	
兵庫県	1.009	19										
奈良県	1.438	6	3	3	0	0	3	1	2	6	0	
和歌山県	1.135	3										
鳥取県	1.159	1										
島根県	1.260	2										
岡山県	1.419	8	6	5	1	0	2	1	1	8	0	
広島県	0.897	4										
山口県	1.056	3										
徳島県	1.305	2										
香川県	1.135	1										
愛媛県	1.570	6	3	3	0	0	3	1	2	6	0	
高知県	0.991	3										
福岡県	1.108	15	15	14	1	0	0	0	0	15	1	
佐賀県	1.092	2										
長崎県	1.239	1										
熊本県	1.183	5										
大分県	1.122	3										
宮崎県	1.082	2										
鹿児島県	1.071	1										
沖縄県	1.029	4										
			104	95	9	0	18	6	12	122	5	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、放射線科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は6名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

麻酔科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	1.261	19	20	20	0	0	0	0	0	20	0	
青森県	0.703	3										
岩手県	0.579	3										
宮城県	0.929	11										
秋田県	0.676	3										
山形県	0.592	2										
福島県	0.666	5										
茨城県	0.683	4										
栃木県	0.929	5										
群馬県	0.899	5										
埼玉県	0.781	29										
千葉県	0.795	21										
東京都	1.282	77	63	55	8	0	14	3	11	77	5	
神奈川県	0.861	48										
新潟県	0.630	4										
富山県	1.082	2										
石川県	1.115	3										
福井県	0.812	2										
山梨県	0.967	1										
長野県	0.881	4										
岐阜県	0.588	5										
静岡県	0.780	8										
愛知県	0.798	32										
三重県	0.609	6										
滋賀県	0.974	7										
京都府	1.244	12	12	10	2	0	0	0	0	12	0	
大阪府	1.065	29	34	34	0	0	0	0	0	34	0	
兵庫県	1.101	32	21	21	0	0	11	4	7	32	0	
奈良県	0.940	3										
和歌山県	0.863	5										
鳥取県	1.045	3										
島根県	1.231	2										
岡山県	1.196	15	8	7	1	0	7	1	6	15	0	
広島県	1.012	10	11	11	0	0	0	0	0	11	0	
山口県	0.897	2										
徳島県	1.028	2										
香川県	1.044	3										
愛媛県	0.850	3										
高知県	0.935	3										
福岡県	1.135	20	20	20	0	0	0	0	0	20	0	
佐賀県	0.893	3										
長崎県	0.995	3										
熊本県	1.015	4										
大分県	0.950	6										
宮崎県	0.870	2										
鹿児島県	0.988	5										
沖縄県	1.192	7	7	6	0	1	1	0	1	8	0	
			196	184	11	1	33	8	25	229	5	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、麻酔科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は8名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

形成外科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.690	8										
青森県	0.457	2										
岩手県	0.544	2										
宮城県	0.996	3										
秋田県	0.321	0										
山形県	0.429	2										
福島県	0.589	1										
茨城県	0.493	3										
栃木県	0.904	6										
群馬県	0.402	2										
埼玉県	0.692	12										
千葉県	0.780	11										
東京都	2.281	41	30	26	4	0	11	3	8	41	4	
神奈川県	0.900	24										
新潟県	0.477	2										
富山県	0.741	3										
石川県	1.094	2										
福井県	0.521	1										
山梨県	0.490	1										
長野県	0.918	2										
岐阜県	0.387	1										
静岡県	0.863	5										
愛知県	0.712	12										
三重県	0.326	1										
滋賀県	0.682	2										
京都府	0.948	8										
大阪府	1.179	16	16	16	0	0	0	0	0	16	0	
兵庫県	0.919	12										
奈良県	0.820	3										
和歌山県	0.616	2										
鳥取県	0.472	2										
島根県	0.691	1										
岡山県	1.155	7	3	3	0	0	4	1	3	7	0	
広島県	0.578	3										
山口県	0.349	0										
徳島県	1.107	2										
香川県	0.962	1										
愛媛県	0.779	0										
高知県	0.553	0										
福岡県	1.216	7	9	9	0	0	0	0	0	9	0	
佐賀県	0.784	0										
長崎県	0.942	2										
熊本県	0.510	3										
大分県	0.764	4										
宮崎県	0.436	0										
鹿児島県	0.502	2										
沖縄県	1.100	3										
			58	54	4	0	15	4	11	73	4	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、形成外科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は4名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

リハビリテーション科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.843	4										
青森県	0.464	1										
岩手県	0.614	0										
宮城県	0.967	3										
秋田県	0.677	0										
山形県	0.451	0										
福島県	0.331	1										
茨城県	0.519	3										
栃木県	1.150	1										
群馬県	0.758	1										
埼玉県	0.675	7										
千葉県	1.013	7										
東京都	1.428	21	18	16	2	0	3	0	3	21	2	
神奈川県	0.879	9										
新潟県	0.635	2										
富山県	0.951	0										
石川県	0.941	0										
福井県	0.925	1										
山梨県	0.948	0										
長野県	0.729	2										
岐阜県	0.400	0										
静岡県	1.040	6										
愛知県	0.893	14										
三重県	0.649	2										
滋賀県	1.094	1										
京都府	1.414	5										
大阪府	1.181	9	10	10	0	0	0	0	0	10	0	
兵庫県	1.015	10										
奈良県	1.396	1										
和歌山県	1.241	1										
鳥取県	1.462	0										
島根県	1.690	0										
岡山県	1.064	5										
広島県	0.994	10										
山口県	0.904	1										
徳島県	1.205	0										
香川県	0.653	0										
愛媛県	1.030	1										
高知県	0.585	1										
福岡県	1.239	6	6	6	0	0	0	0	0	6	0	
佐賀県	0.682	0										
長崎県	0.906	1										
熊本県	0.908	2										
大分県	0.813	0										
宮崎県	0.624	1										
鹿児島県	1.242	2										
沖縄県	1.262	1										
			34	32	2	0	3	0	3	37	2	

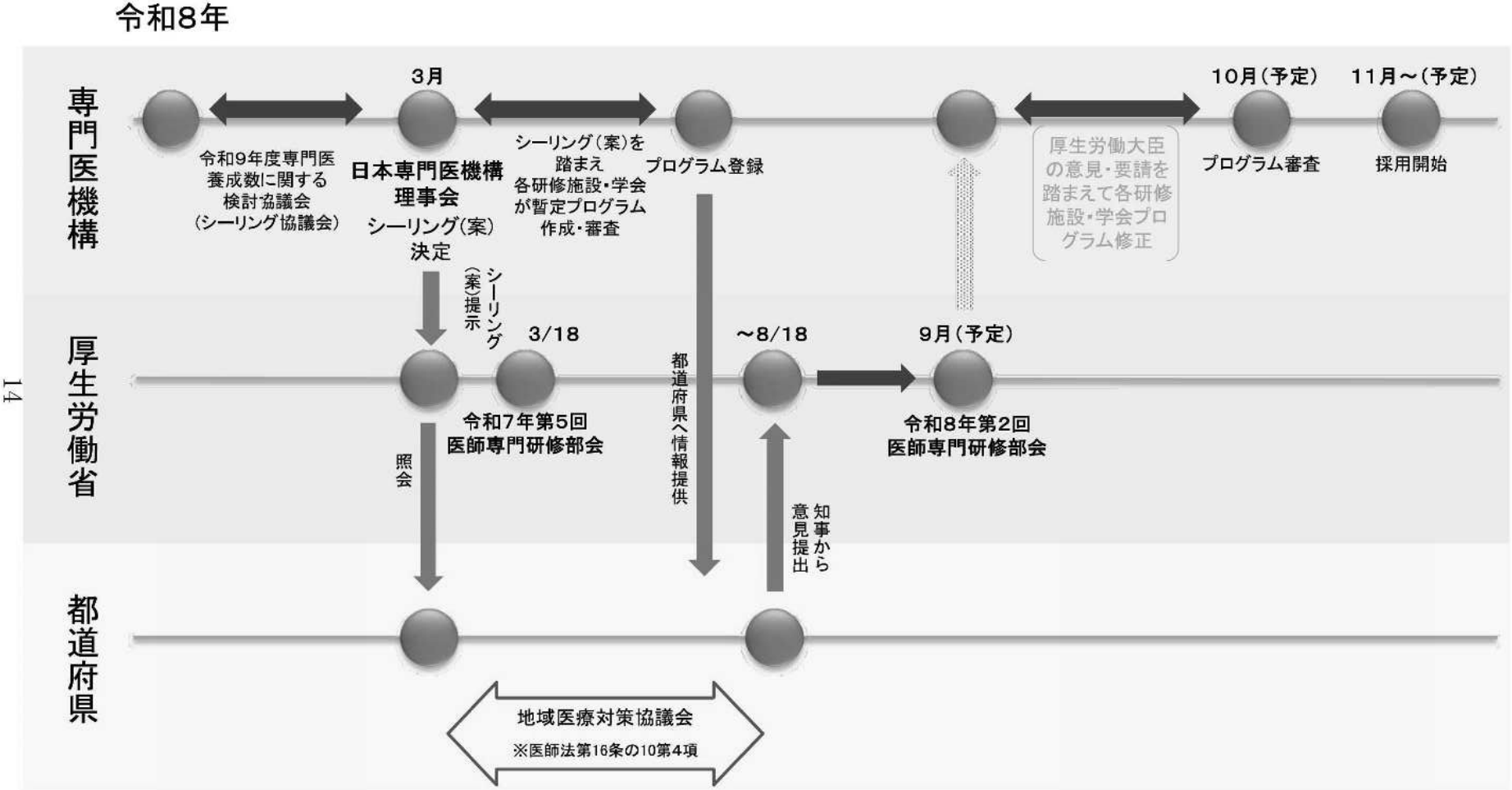
※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、リハビリテーション科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は2名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025（令和７）年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

令和9年度専門研修プログラム募集のスケジュール（案）



14

令和 7年度第 4回　医道審議会 医師分科会　医師専門研修部会	資料1－1
令和 8年1月21日	

日本専門医機構資料

令和9（2027）年度専攻医募集における シーリングの基本的な方針（案）

令和9（2027）年度専攻医募集におけるシーリングについて

方針（案）

○　令和9（2027）年度については、今後に向けた運用上の課題の把握等も念頭にしながら、基本的には、令和7（2025）年7月24日医道審議会医師分科会医師専門研修部会において厚生労働省より示された案を踏まえた方針とする。

○　令和9（2027）年度のシーリングについては、基本的には令和8（2026）年度の仕組みと同様とするが、具体的な変更点等は、以下のとおり。

1．シーリング対象

・　令和7(2025)年に算出された最新の必要医師数や足下医師数のデータを用いることとし、「2022年医師数」が、「2022年の必要医師数」及び「2030年の必要医師数」と同数あるいは上回る都道府県診療科とする。

※ただし、過去3年間（令和5～7年度）の採用数の平均が5以下の都道府県診療科は、対象外とする。

2．特別地域連携プログラム

・　特別地域連携プログラムの連携先要件について

①足下充足率の基準を「0.7以下」から「0.8以下」に引き上げる。 ※小児科は「0.8以下」から「0.9以下」に引き上げ

②「医師少数区域」から「都道府県が候補とした施設」に変更する。

・　特別地域連携プログラムと連携プログラム（都道府県限定分）を統合する。

3．指導医派遣実績について

・　通常プログラムの加算数の算出に用いる指導医派遣実績については、実績の収集等の負担等を考慮し、新たに収集することはせず、令和8(2026)年度のシーリング算出に用いた実績を使用する。

・　ただし、令和9(2027）年度のシーリングにおいて新たに加算数の設置の対象となる都道府県診療科については、令和8(2026)年度のシーリング算出と同様の方法で実績を収集し、算出に用いる。

令和9（2027）年度専攻医募集におけるシーリング基本方針　全体像

1．シーリング対象都道府県の選定

○ 令和7(2025)年に算出された最新の必要医師数等を使用し、各都道府県診療科における「2022年の足下医師数」と、「2022年の必要医師数」及び「2030年の必要医師数」を比較し、両者と同数又は上回る場合とする。

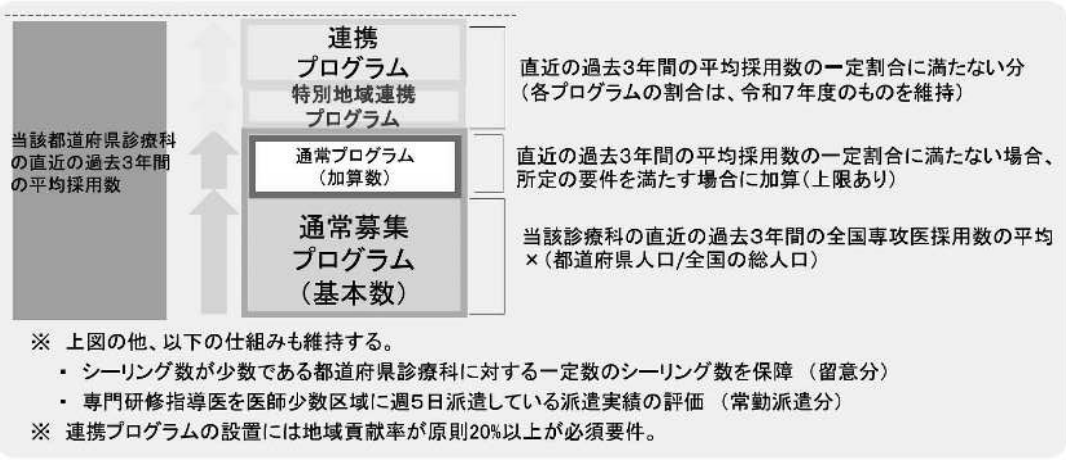
※ 過去3年間の採用数の平均が5以下の都道府県診療科はシーリングの対象外とする。
※ 例外としてシーリングの対象外とする診療科は、外科・産婦人科[1]、病理・臨床検査[2]、救急・総合診療科[3] の6診療科
1)平成6年度と比較して平成28年度の医師数自体が減少しているなどの理由　2)専攻医が著しく少数である等の理由　3)今後の役割についてさらなる議論が必要とされている等の理由

2．シーリング数や採用上限数、プログラムの内訳等

○ 基本的には令和8（2026）年度の仕組みと同様とする。

○ 特別地域連携プログラムの連携先要件を変更し、連携プログラム（都道府県限定分）を統合する。

○ 通常プログラムの加算数の算出に用いる指導医派遣実績は、実績収集等の負担等を考慮し、基本的には、新たに収集することはせず、令和8(2026)年度のシーリング算出に用いた実績を使用する。



※ 上図の他、以下の仕組みも維持する。
- シーリング数が少数である都道府県診療科に対する一定数のシーリング数を保障 （留意分）
- 専門研修指導医を医師少数区域に週5日派遣している派遣実績の評価 （常勤派遣分）

※ 連携プログラムの設置には地域貢献率が原則20%以上が必須要件。

	連携先	連携先における研修期間
連携プログラム	シーリング対象外の都道府県	1年6ヶ月以上
特別地域連携プログラム	足下充足率0.8以下（小児科は0.9以下）の都道府県にあり、当該都道府県が候補とした施設	1年以上
通常プログラム	募集や採用にあたり生じる要件はない ※基本領域毎のプログラム整備基準において定められる地域研修等の要件はある	募集や採用にあたり生じる要件はない ※基本領域毎のプログラム整備基準において定められる地域研修等の要件はある

※足下充足率　2022足下医師数/2022必要医師数
※精神科は、他に精神保健指定医連携枠を設置することが可能

【令和9(2027)年度募集】シーリングの設定方法について①

1. シーリング対象の診療科 ※変更なし

内科、小児科、皮膚科、精神科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、形成外科、リハビリテーション科の13診療科

例外としてシーリングの対象外とする診療科は、
外科・産婦人科[1)]、病理・臨床検査[2)]、救急・総合診療科[3)]
の6診療科

1)平成6年度と比較して平成28年度の医師数自体が減少しているなどの理由
2)専攻医が著しく少数である等の理由
3)今後の役割についてさらなる議論が必要とされている等の理由

2. シーリング対象とする都道府県診療科の選定

「令和4年(2022年)の医師数」≧「令和4年(2022年)の必要医師数」
かつ「令和4年(2022年)の医師数」≧「令和12年(2030年)の必要医師数」を満たす都道府県診療科。

※過去3年間(令和5(2023)-7(2025)年度)の採用数の平均が5人以下の場合は、シーリング対象外とする。
※「医師数」は、いずれも性年齢構成を反映した仕事量に換算した人数。

3. 通常プログラム数の設定

(1)通常プログラムの基本数:
当該診療科の過去3年間(令和5(2023)-7(2025)年度)の全国専攻医採用数の平均×(都道府県の人口/全国の総人口)
※小児科については、(都道府県の15歳未満人口/全国の15歳未満総人口)とする。

(2)通常プログラムの加算数:
(1)の数が、過去3年間の平均採用数に達していない場合、「過去3年間の平均採用数に達しない範囲」かつ「通常プログラム基本数の15%までの範囲」で、指導医派遣実績に応じた通常プログラムの加算を可能とする。
※(1)においては、直近の過去3年間平均採用数を超えて設定することを許容。一方で、(2)は過去3年間平均採用数に満たない範囲で加算することとする。

(次ページに続く)

【令和9 (2027)年度募集】シーリングの設定方法について②

4. 連携プログラムの設置

(3)連携プログラムの設置数

3. による通常プログラム数が、過去3年間の平均採用数に満たない場合、過去3年間の平均採用数に達しない範囲で、連携プログラムの設置を可能とする。(※1)

ただし、当該年度の通常プログラムにおける地域貢献率(※2)が原則20%以上であることを連携プログラムの設置のための必須条件とする。

※1 3.の時点で、直近の過去3年間平均採用数を超えた場合は、連携プログラムは設置されない。

※2 地域貢献率＝ $\dfrac{\Sigma\text{(各専攻医が「シーリング対象外の都道府県」及び「当該都道府県の医師少数区域」で研修を実施している期間)}}{\Sigma\text{(各専攻医における専門研修プログラムの総研修期間)}}$

(4)連携プログラムの内訳の設定

各連携プログラムは、令和7年度募集における各プログラムの設置数の比率(実績がない場合は令和7年度募集における設置数の比率の原則(※3))を維持して設定する。ただし、特別地域連携プログラムの比率には、都道府県限定分と特別地域連携プログラムを含めることとする。

	区分	連携先	連携期間	シーリング数
(イ)	連携プログラム	シーリング対象外の都道府県に所在する施設	1年半以上	{(3)連携プログラムの設置数} ×令和7年度の連携プログラム総数における連携プログラムの割合
(ロ)	特別地域連携プログラム	足下充足率0.8以下(小児科は0.9以下)の都道府県にあり、当該都道府県が候補とした施設	1年以上	{(3)連携プログラムの設置数} ×令和7年度の連携プログラム総数における都道府県限定分及び特別地域連携プログラムの割合

※3 連携プログラム:特別地域連携プログラム(都道府県限定分を含む)＝ 3:2 (内科・整形外科・脳神経外科)
1:1 (眼科・耳鼻科・泌尿器科・リハビリテーション科)
1:2 (小児科・皮膚科・精神科・放射線科・麻酔科・形成外科)

(次ページに続く)

【令和9 (2027)年度募集】シーリングの設定方法について③

5. 留意分等

(5)シーリング数が全国採用数の一定割合に満たない場合の配慮(留意分)

算出されたシーリング数が、当該診療科の過去3年間(令和5(2023)-7(2025)年度)の全国専攻医採用数の平均の1.7%に満たない場合、前回シーリング数を超えない範囲で通常プログラムを追加することを可能とする。

※新たにシーリング対象となった都道府県診療科など「前回シーリング数」が存在しない都道府県診療科は、
・これまでシーリング対象となったことがある場合は、直近のシーリング数
・これまでシーリング対象となったことがない場合は、過去3年間(令和5(2023)-7(2025)年度)の平均採用数
を「前回シーリング数」として代用する。

(6)常勤派遣分

通常プログラム加算数の対象である都道府県診療科について、指導医の全派遣実績のうち、医師少数区域に週5日派遣している派遣実績を更に評価し通常プログラムを追加することを可能とする。
ただし、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

留意事項

<シーリング対象外とする医師>

・①又は②の医師のうち、専攻医期間に医師少数区域又は医師少数スポットで専門研修を行う予定の者。
① 都道府県と卒業後一定期間、当該都道府県内で医師として就業する契約を締結した者(修学資金の貸与の有無を問わない)
② 自治医科大学を卒業した医師

・既に基本領域専門医を取得済みのダブルボード取得希望者。

令和9（2027）年度シーリング対象都道府県診療科の一覧

診療科	都道府県
内科	東京、京都、和歌山、鳥取、岡山、徳島、福岡、長崎、熊本、鹿児島
小児科	東京、長野、京都、兵庫、奈良、岡山
皮膚科	東京、石川、愛知、京都、兵庫、岡山
精神科	東京、石川、京都、岡山、広島、香川、福岡、佐賀、熊本、沖縄
整形外科	京都、奈良、福岡
眼科	東京、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山
耳鼻咽喉科	東京、京都、大阪、兵庫、岡山
泌尿器科	東京、京都、大阪、福岡
脳神経外科	北海道、東京
放射線科	東京、京都、大阪、奈良、岡山、愛媛、福岡
麻酔科	北海道、東京、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、福岡、沖縄
形成外科	東京、大阪、岡山、福岡
リハビリテーション科	東京、大阪、福岡

【令和９（2027)年度募集】専門研修指導医の派遣実績の定義等

○ 通常プログラム加算数の算出に用いる専門研修指導医の派遣実績は、令和8(2026)年度と同様、下記の（1）と（2）のいずれも満たす場合を対象とする。

（1）医師や派遣先における勤務形態

（イ）原則、各基本領域の専門研修プログラム整備基準に定める専門研修指導医の要件を満たす医師であること

（ロ）派遣元と派遣先の連携・調整により派遣された医師であること

具体例
- 派遣元から、出向等の形式で異動した上で、所定の期間が経過した後に派遣元に戻る予定の医師
- その他、派遣元から専攻医を受け入れて指導を行っているなど、専門研修環境の向上に資する医師
- いわゆる医局からの派遣も実績の対象としてよい

留意事項
- 双方の合意形成の元で派遣されている医師に限ること。調整の事実がないことが疑われる場合は改めて確認する場合がある。

（ハ）専攻医の指導を行うこと等を通じて、専門研修の充実に資する勤務形態であること

具体例
- 常勤/非常勤の勤務形態や、派遣期間によらず、専攻医の指導に当たることが想定される場合
- 週当たり勤務日数が週5日未満の場合や月単位の勤務（例：週3日の非常勤勤務を6か月間行う場合など）であっても、専攻医の指導を担当しうる場合

留意事項
- 週あたり派遣日数については、概ね半日（午前または午後）以上の勤務を1日とカウントする。
- 派遣期間については、概ね半月以上を1か月とカウントする。
- 常勤医とは、派遣先で週32時間以上勤務する医師を指す。

（2）派遣先

（イ）専門研修施設（基幹施設または連携施設）又はその認定を受けようとする医療機関への派遣であること

留意事項
- 報告時点で研修施設となっていないものの、指導医が派遣されることにより、研修施設の要件を満たし、研修施設としての学会の認定を受けようとしている場合も、研修施設への派遣実績に含める。

（ロ）シーリング対象外の都道府県への派遣であること

具体例
- 連携プログラム等の連携先要件を満たす地域への派遣

留意事項
- 指導医と専攻医が共に派遣先（連携先）で勤務することが望ましいが、指導医単独での派遣も実績に含めることができる。
- 派遣先については、派遣元の研修プログラムの連携施設のみならず、他のプログラムの基幹施設や連携施設も実績に含めることができる。

【令和9(2027)年度募集】専門研修指導医の派遣実績の枠数への換算

○ 専門研修指導医の派遣実績の枠数への換算及び設定数については、令和8年度と同様、以下のとおりとした。

○ また、実績の収集等の負担等を考慮し、基本的には、令和8(2026)年度のシーリング算出に用いた実績を使用する。令和9（2027）年度のシーリングにおいて新たに加算数の設置の対象となる都道府県診療科(※)においては、令和8(2026)年度のシーリング算出と同様の方法で実績を収集し、算出に用いる。

通常プログラム加算数

対象とする派遣実績	枠数への換算	設定可能数	扱い
要件を満たす全派遣実績	派遣実績(人・年)×0.5・・・(ア)	(ア)＋(イ)を、以下のいずれか小さい数を上限とし設定可能とする (a)過去3年間の平均採用数に達しない範囲 (b)通常プログラム基本数の15%までの範囲	通常プログラム
要件を満たす全派遣実績のうち、足下充足率0.7以下の都道府県への派遣実績	派遣実績(人・年)×0.5・・・(イ)		

常勤派遣分

対象とする派遣実績	枠数への換算	設定可能数	扱い
要件を満たす全派遣実績のうち、常勤に相当する週5日間の医師少数区域への派遣実績	派遣実績(人・年)/(通常プログラム基本数の15%分)・・・(ウ)	(ウ)を、通常プログラム基本数の15%分を上限とし設定可能とする	通常プログラム（ただし、次年度の採用実績に計上しない）

※内科（鳥取県）、小児科（兵庫県、奈良県）、皮膚科（愛知県、岡山県）、精神科（京都府、香川県）、整形外科（奈良県）、眼科（愛知県、岡山県）、泌尿器科（東京都、福岡県）、麻酔科（兵庫県）

専門研修指導医の派遣実績及び加算数

			①	②	③	④		
領域	都道府県	加算上限	派遣医師人数（人）	①の派遣実績（人・年）	派遣医師人数（人）のうち、派遣先が足下充足率0.7以下への派遣（人）	③による派遣実績（人・年）	実績の加算数への換算（②×0.5＋④×0.5）	加算数
内科	東京都	50	1,265	884	543	415	649	50
内科	京都府	9	303	245	23	21	133	9
内科	大阪府	8	173	126	7	3	65	8
内科	和歌山県	3	9	9	2	2	6	3
内科	岡山県	6	240	219	0	0	109	6
内科	福岡県	18	155	97	1	1	49	18
内科	長崎県	3	11	11	0	0	6	3
小児科	東京都	9	234	122	1	1	61	9
皮膚科	東京都	5	62	47	1	1	24	5
皮膚科	京都府	1	52	15	0	0	8	1
精神科	東京都	10	169	147	15	13	80	10
精神科	石川県	1	5	5	0	0	3	1
精神科	岡山県	1	73	68	1	1	35	1
精神科	福岡県	2	10	8	0	0	4	2
精神科	佐賀県	1	9	2	2	1	1	1
整形外科	東京都	12	406	285	120	69	177	12
整形外科	京都府	2	98	93	0	0	47	2
整形外科	福岡県	4	147	114	2	2	58	4

次項に続く

専門研修指導医の派遣実績及び加算数（続き）

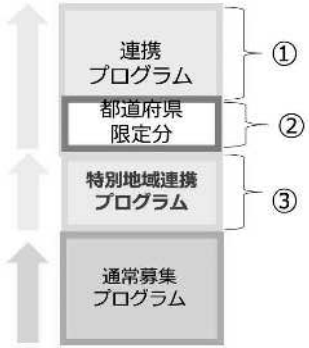
領域	都道府県	加算上限	① 派遣医師人数（人）	② ①の派遣実績（人・年）	③ 派遣医師人数（人）のうち、派遣先が足下充足率0.7以下への派遣（人）	④ ③による派遣実績（人・年）	実績の加算数への換算（②×0.5＋④×0.5）	加算数
眼科	東京都	6	167	102	7	2	52	6
眼科	京都府	1	50	35	0	0	17	1
眼科	大阪府	3	40	32	0	0	16	3
耳鼻咽喉科	東京都	4	89	73	6	3	38	4
耳鼻咽喉科	愛知県	2	7	5	0	0	2	2
耳鼻咽喉科	京都府	1	39	37	0	0	19	1
泌尿器科	京都府	1	77	73	0	0	37	1
脳神経外科	東京都	4	290	228	150	120	174	4
放射線科	東京都	6	204	116	143	83	99	6
放射線科	京都府	1	144	125	2	2	63	1
放射線科	岡山県	1	42	42	0	0	21	1
放射線科	福岡県	1	35	29	3	3	16	1
麻酔科	東京都	8	290	137	242	102	120	8
麻酔科	京都府	2	76	56	7	1	29	2
麻酔科	岡山県	1	122	85	8	7	46	1
麻酔科	沖縄県	1	0	0	0	0	0	0
形成外科	東京都	4	94	80	13	10	45	4
形成外科	兵庫県	2	12	8	11	8	8	2
リハビリテーション科	東京都	2	56	51	22	20	36	2

令和7年度第3回 医道審議会
医師分科会 医師専門研修部会
令和7年9月5日
資料2

専門研修の連携プログラムにおける連携先要件及び区分の見直し（案）

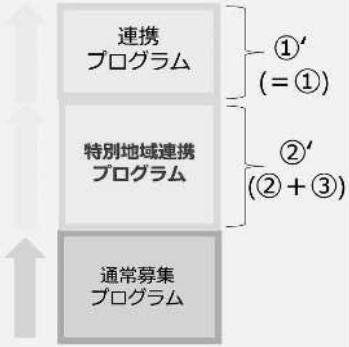
令和８年度

	区分	連携先	連携期間	採用数
①	連携プログラム（都道府県限定分を除く）	シーリング対象外の都道府県に所在する施設	1年半以上	・過去３年間の平均採用数の一定割合に満たない分 ・各プログラムの割合は、令和７年度のものを維持
②	連携プログラム（都道府県限定分）	足下充足率0.8以下の都道府県に所在する施設	1年半以上	
③	特別地域連携プログラム	足下充足率0.7以下の都道府県の医師少数区域等に所在する施設	１年以上	



令和９年度以降（案）

	区分	連携先	連携期間	採用数
①′	連携プログラム	シーリング対象外の都道府県に所在する施設	１年半以上	①と同様
②′	特別地域連携プログラム	足下充足率0.8以下(小児科は0.9以下)の都道府県にあり、当該都道府県が候補とした施設	１年以上	②＋③



見直し（案）のポイント

- 特別地域連携プログラムの連携先要件について、
  - 足下充足率の基準を「0.7以下」から「0.8以下」に引き上げる　※更新後の足下充足率を踏まえた対応
  - 「医師少数区域」から「都道府県が候補とした施設」に変更　※地域ニーズや領域特性への柔軟な対応
- 特別地域連携プログラムを連携プログラム（都道府県限定分）と統合する　※制度のシンプル化・意義を保つ目的

医政医発０３２５第２号
令和８年３月25日

各都道府県衛生主管部（局）長　殿

厚生労働省医政局医事課長
（　公　印　省　略　）

医師の専門研修に関する協議について

医師の専門研修については、医師法（昭和23年法律第201号。以下「法」という。）第16条の10第１項の規定に基づき、一般社団法人日本専門医機構（以下「機構」という。）及び基本領域学会は、医師の研修に関する計画（研修施設、研修を受ける医師の定員及び研修期間に関する事項が定められているものに限る。）を定め、又は変更しようとするときは、あらかじめ厚生労働大臣の意見を聴かなければならず、また、同条第３項の規定に基づき、厚生労働大臣は、意見を述べるときは、あらかじめ関係都道府県知事の意見を聴かなければならないとされています。

令和９(2027)年度の専攻医募集に係る各都道府県診療科における募集定員の上限（以下「シーリング」という。）については、令和８(2026)年３月18日に開催した令和７年第５回医道審議会医師分科会医師専門研修部会において、機構から令和９(2027)年度専攻医シーリング案が提示されたところです。

つきましては、当該シーリング案の内容について、法第16条の10第３項の規定に基づき、各都道府県に協議しますので、意見を述べるときは、下記の方法に従って、令和８(2026)年８月18日（火）までに御提出いただきますようお願いいたします。

なお、令和９(2027)年度専攻医シーリング案の詳細については、別添資料１、２及び３を御参照ください。

記

１．協議方法

（１）機構及び基本領域学会から厚生労働省及び都道府県への情報提供

①　機構及び基本領域学会は、医療提供体制の確保に重大な影響を与える下記ア～エの策定又は変更をしようとするときは、厚生労働省に対して策定又は変更に係る情報を提供すること。

ア．専門医制度整備指針

イ．専門医制度整備指針運用細則

ウ．プログラム整備基準

エ．ウに基づき作成する領域別研修プログラム

② 機構及び基本領域学会は、都道府県に対して、個別の研修プログラムの内容（ローテーション、専攻医採用人数、指導医数等）について情報を提供すること。

（２）厚生労働省から都道府県への協議

厚生労働省は、協議方法や確認事項を明示した上で都道府県への協議を行う。

（３）都道府県から厚生労働省への意見

都道府県は、２．のとおり確認し、医療提供体制の確保の観点から改善を求める意見がある場合、地域医療対策協議会の意見を聴いた上で、**様式１**により厚生労働省に提出すること。

なお、各診療領域のプログラム設置等に対する意見や、個別のプログラムの内容について意見がある場合は、**様式２**又は**様式３**により厚生労働省に提出すること。

提出先：厚生労働省医政局医事課　ishi-kensyu@mhlw.go.jp
提出期限：令和８(2026)年８月 18 日（火）17 時

（４）厚生労働大臣から機構及び基本領域学会への意見

上記（３）により提出された都道府県の意見を厚生労働省において集約し、必要に応じ、医道審議会医師分科会医師専門研修部会に諮った上で、機構及び基本領域学会へ意見を提出すること。

２．都道府県における確認事項

都道府県は、機構及び基本領域学会から提供された情報について次の事項を確認する。

（１）令和９(2027)年度専攻医シーリング案について

機構が提示した令和９(2027)年度専攻医シーリング案が、都道府県内の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっていること。(様式１)

（２）専門研修プログラムについて

① 各診療領域のプログラムに共通する内容については、例えば、以下のように都道府県内の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっていること。(様式２)

・ 内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科及び麻酔科については、都道府県ごとに複数の基幹施設が置かれていること。
・ 診療科別の定員配置が都道府県内の医師確保対策や偏在対策に資するものになっていること。

② 個別のプログラムの内容については、例えば、以下のように都道府県内の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっていること。(様式３)

・ プログラムの連携施設及びローテーションの設定並びに採用人数が都道府県の偏在対策に配慮したものであること。
・ プログラムの廃止がある場合は、それによって地域の医療提供体制に多大な影響を与えないこと。
・ 特定の地域や診療科において従事する医師を確保する観点から、地域枠等の従事要件に配慮した研修プログラムであること。

以上

令和９年度専門研修プログラム　基幹施設一覧

施設名	所在地	内科	小児科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	麻酔科	救急科	総合診療科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	放射線科	脳神経外科	リハビリテーション科	形成外科	病理	臨床検査
京都府立医科大学附属病院	京都市上京区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都大学医学部附属病院	京都市左京区	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宇治徳洲会病院	宇治市	○	○		○	○		○	○	○										
京都医療センター	京都市伏見区	○			○	○	○	○	○	○										
洛和会音羽病院	京都市山科区	○						○	○			○								
京都第二赤十字病院	京都市上京区	○						○	○											
京都第一赤十字病院	京都市東山区	○						○	○											
武田総合病院	京都市伏見区	○						○		○										
市立福知山市民病院	福知山市	○								○										
京都市立病院	京都市中京区	○						○												
京都民医連中央病院	京都市中京区	○								○										
京都岡本記念病院	久御山町	○						○												
京都桂病院	京都市西京区	○						○	○											
京都中部総合医療センター	南丹市	○																		
宇多野病院	京都市右京区	○																		
京都山城総合医療センター	木津川市	○																		
京都済生会病院	長岡京市	○																		
府立洛南病院	宇治市			○																
舞鶴医療センター	舞鶴市			○																
三菱京都病院	京都市西京区							○												
京都協立病院	綾部市									○										
京都南病院	京都市下京区									○										
洛和会丸太町病院	京都市中京区									○										
京都民医連あすかい病院	京都市左京区									○										
京都田辺中央病院	京田辺市									○										
洛陽病院	京都市左京区									○										
宇治おうばく病院	宇治市			○																
いわくら病院	京都市左京区			☆																
		17	3	6	4	4	3	12	8	13	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2

☆：令和９年度新規申請中